



徳成寺 寺にもかわら版 第199号 2023年7月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

先月のNHKスペシャル「ヒューマンエイジ 第2集

戦争 なぜ殺し合うのか」を見ました。番組の終りに

紛争解決の専門家の女性がこう言っていました。「人類が画像や

映像などあらゆる事を試みて戦争を起こしてきたのに対して、平和の

ために何をして来たかと言うと、まだ解像度の低い伝え方しか出来ていない。

そこにまだ伸びしろがあるのではないかと。パソコンで「戦争」を検索すると

生々しい画像や映像があるのに、「平和」で検索するとハトや握手などの漠然とした

イメージしかないとも。これでは力にならないはずです。「平和」をイメージできるように

物語られたのが経典だと思います。なぜならそこに説かれてあるのは「あらゆる人々を

敵視する必要のない世界観」です。平和への伸びしろは既に足元に開かれています。

発行責任者
住職
大山健児
坊主
大山ひこみ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。紙面で度々お話しさせていただいた3年間の法話実習が無事に終了しました。その日は聴講にいらっしゃった方が非常に多く、20人くらいの人の前で法話を致しました。とても緊張しましたが、何とか伝えたいことは伝え切り、その日はホッとした気持ちで布団に入りました。しかし後日、感想文を書いているシートを見ると私が伝えたかったことと、聴講者への伝わり方が全く異なっており、伝える事の難しさを痛感しました。一方で、実習を終えた事で幾つかの法話の機会を頂きました。お声がけ頂いてありがたいと思う反面、半人前の自分で良いのかと思います。返事をどうしようか迷っていた所、近くに居合わせた先輩のお坊さんに「法話の依頼の返事は3つ。ハイかイエスカ喜んでや。成長する事をサボってはいけない。受けなさい」とキツい言葉を頂戴しました。先輩の語気は強かったのですが、目の前の結果に留まらず、考え続けなさいと励まされているように感じました。励ましや促しに従って精進したいと思いました。

